



地域を育み、
大陸をつなぐ

Weekly



・会長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・幹事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801
 ・会報 井田 武憲 尾張旭市東大道町原田 2570-3

・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : owariasahi@mtc.biglobe.ne.jp
 URL : http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

本日 第1940回 2010年10月29日(金) No.1832

本日のプログラム Today's Program

親睦例会:

点 鐘

テーマ:「楽しみながら、これから何かしませんか！」

ロータリーソング 「日も風も星も」

前回 第1939回 2010年10月22日(金) 記 録

田嶋ガバナー公式訪問 (4RC合同例会)

斉 唄: 「君が代」・「奉仕の理想」

ゲスト: R I 2760地区 ガバナー 田嶋 好博君
 地区幹事 水野 吉紹君

出席者: 会員28名中26名 出席率92.85%
 前々回補正出席率は10月9日96.43%



田嶋ガバナー (左)と水野地区幹事

労働者の救出という共通の目的にむかって世界中の共感を集め、危機を乗り越えることができたのだと思います。仲間割れが生じていたとか、愛人問題が表沙汰になったりとおまけも色々つきましましたが、今回の救出劇に大いなる拍手をおくりたいと思います。翻って現在名古屋で開催されています地球生き物会議では、予想通り参加各国の思惑が錯綜して、なかなかすっきりとした前進がみられないようです。10月15日には、名古屋クアラルンプール補足議定書が合意にいたり採択されました。これは、輸入された遺伝子組み換え作物(LMO)で生態系に被害が生じた場合、賠償責任について、国際法の範囲内で国内法を作る権利を認め責任の範囲にLMOの加工品は含めないということで先進国と途上国が合意し、責任と修復について一定の枠組みが初めてできたことが評価されていると聞きました。しかし、そもそも遺伝子組み換え作物の登場により、特許で新品種の種子開発技術を独占することで一部の企業がばく大な利益を受け取る事実が発生し、政治をも動かす極めて国にとってもデリケートな問題をはらんでいます。そのために各国が共通の理念をもつことが難しくなっていると思います。今回議定書が採択されても各国で批准されなければ拘束力がなく、都合よく解釈できる玉虫色の決着とも言われています。先進国は深刻な被害は出してないから責任は問われないうえ、途上国はこれで先進国からお金がとれるようになったと考えるようです。地球生き物会議のメイン会合である生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が10月18日からはじまりましたが、途上国の熱帯雨林などにある希少な動植物を先進国が利用し利益を上げた際、途上国にどう利益配分するかの国際ルールを協議すること目的

会長挨拶

ホストクラブ会長 山田 直樹

本日は、田嶋ガバナーをお迎えしての4RC合同例会です。代表で会長挨拶をさせていただきます。先週は10月14日にチリのサンホセ鉱山で地下700メートルに閉じ込められていた33名の鉱山労働者全員を特殊カプセルで救出することに成功し、大きな話題となりました。8月5日に事故が発生し生存者の確認がなされるまで17日間かかり、当初救出まで4カ月以上はかかると報道されていたわけですが、チリ政府の早期の対応、アメリカ、ペルー、カナダなどの支援、医師と精神科医との専門家チームの活躍、NASAの応援、日本の宇宙航空研究開発機構からの宇宙服として使用している下着類の提供等で大幅に時間の短縮が実現されました。鉱山

ロータリー財団月間

	11月 5日(金)	11月12日(金)	11月19日(金)	11月26日(金)
例会予定	卓話者: 安藤 公爾君 演題: 「ロータリー財団月間に因んで」 卓話者: 谷口 伸夫君 演題: 「創立40周年記念式典の説明」	卓話担当者: 谷口 伸夫君 卓話者: 伊藤 秀雄君 (名古屋東南RC) 演題: 「会員増強について」	卓話者: 大竹 薫君 演題: 「まつりと鉄砲(火縄銃)の話し」	親睦例会 テーマ: 新入会員の皆さん 懇談会

としており、途上国は植民地時代まで遡って利益を払えと主張し、対立が激化しているとのこと。議長国として、日本は最大限の努力をしているようですが、先進国と途上国のそれぞれの言い分は長い歴史からすれば、理解できる面もあると思います。しかし、これから私たちは次世代を背負う子どもたちのためにも、相互理解を深めて、地球の明日を見つめなければならないと強く思います。ロータリアンとしても、環境問題を大きなテーマとしてとらえているわけですから、私たちで出来る提言を続けていかなければならないと考えます。COP10の成功を祈りつつ挨拶を終わります。



田嶋がバナーを囲み4RC会長・幹事会が行われました。

幹事報告

- ・10/15 会員増強拡大委員会 於商工会館 箕輪委員長以下5名出席。
- ・10/20 地区ロータリー-未来委員会 於がバナー事務所分室 大野ロータリー-未来委員出席。
- ・11/1よりロータリー-レート 1ドル ¥82円になります。
- ・次回の会合：第5回創立40周年実行委員会
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

ニコボックス

本日は公式訪問です。よろしくお願いたします。
RI2760地区 ガバナー 田嶋 好博君
地区幹事 水野 吉紹君
田嶋ガバナー公式訪問に参加して。本日出席者全員

卓話

RI2760地区 ガバナー 田嶋 好博



2012～13年度のRI会長に埼玉県八潮ロータリークラブの会員田中作次氏が当選されました。誠にめでたいこととあります。RI会長は日本人としては田中さんが3人目だと思いますが、ご活躍を期待しています。当地区も多数の会員を擁する地区でありながら、従来RI理事を選出していなかったこともあり、それ相当協を要請されることになると思います。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長は、アメリカ

人の弁護士で、若い頃ロータリーの奨学試験に合格され3年間南アフリカに留学された学友であります。クリンギンスミスRI会長は「伝統的な慣習の全てを見直し、もっと良い方法があれば、新しい伝統を始めるべきである」とされた上で、RI会長テーマを「地域を育み大陸をつなぐ」と発表されました。クリンギンスミス会長は、RI会長テーマについて、今迄のRI会長テーマは、ロータリアンだけに呼び掛けるものであったが、今回はロータリアン以外の人達にロータリーの目的を説明し、ロータリアンに対しては自分達の活動の意義を再認識して貰うことを目標に作成したと説明されました。

このテーマの「地域を育み」は私達が地域社会の人達と一緒に地域社会がより良くなるよう、より住みよくなるよう協力しようとの呼び掛けであり、「大陸をつなぐ」は国際理解と国際協力に努力しようということ、ロータリーに相応しいテーマであり同時に世界に対して呼び掛けるという勇大なテーマであります。またRI会長の強調事項は8つとされています。クリンギンスミス会長は特にポリオ撲滅と青少年プログラムの推進を強調したいと説明されています。私は強調事項をポリオの撲滅と青少年プログラムの推進と平和と紛争の予防・紛争解決以下の6つを人道的奉仕の具体的な例と解釈し、それを人道的プロジェクトの推進で一括りして3つに整理いたしました。

皆様はRIの長期計画について見たり聞いたりされましたでしょうか。RIは一昨年11月の理事会で長期計画を決定し、今年7月1日から実施しています。RIは今後3年から5年はこの長期計画に基づいて運営されます。実は長期計画の「人道的奉仕の重点化と増加」の項にポリオ撲滅、青少年と青年のプログラム、ロータリー財団の6つの重点分野というものがあり、今年度のRI会長の強調事項はそれと全く重複します。

長期計画を見ますと標語に「超我の奉仕」、中核となる価値観として「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」使命に「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」とされています。

RIは地区やクラブに対してそれぞれの長期計画の策定を呼び掛けています。本年4月の規定審議会は、新世代奉仕を四大奉仕に追加して五大奉仕とすることを決定しました。標準ロータリークラブ定款第5条に追加される内容は、指導力養成活動（RYLAのこと）、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加（インターアクト、ローターアクトのこと）、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクト（青少年交換のこと）であります。1月の国際協議会では新世代のためのロータリークラブの紹介があり、規定審議会では小中学生を対象にしたキッズロータリーの話も出たようですが、日本では難しいと思います。従って、当地区ではRYLA、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の4委員会を中心に新世代の活動を展開して行くこととなります。

今年度は近藤RI理事らの発案でロータリークラブ定款の表現の見直しも始められています。RIの職業奉仕委員会など今年度はさまざまな制度改革が始められる年であります。

私はさまざまな機会にロータリーの基本は会員であり、会員が恒常的に活躍されるクラブだと申し上げて参りましたが、各クラブが歴史と伝統を守り育てると共に奉仕に対するしっかりした方針を確立され、ロータリー夢を実現されるよう祈念いたしております。

